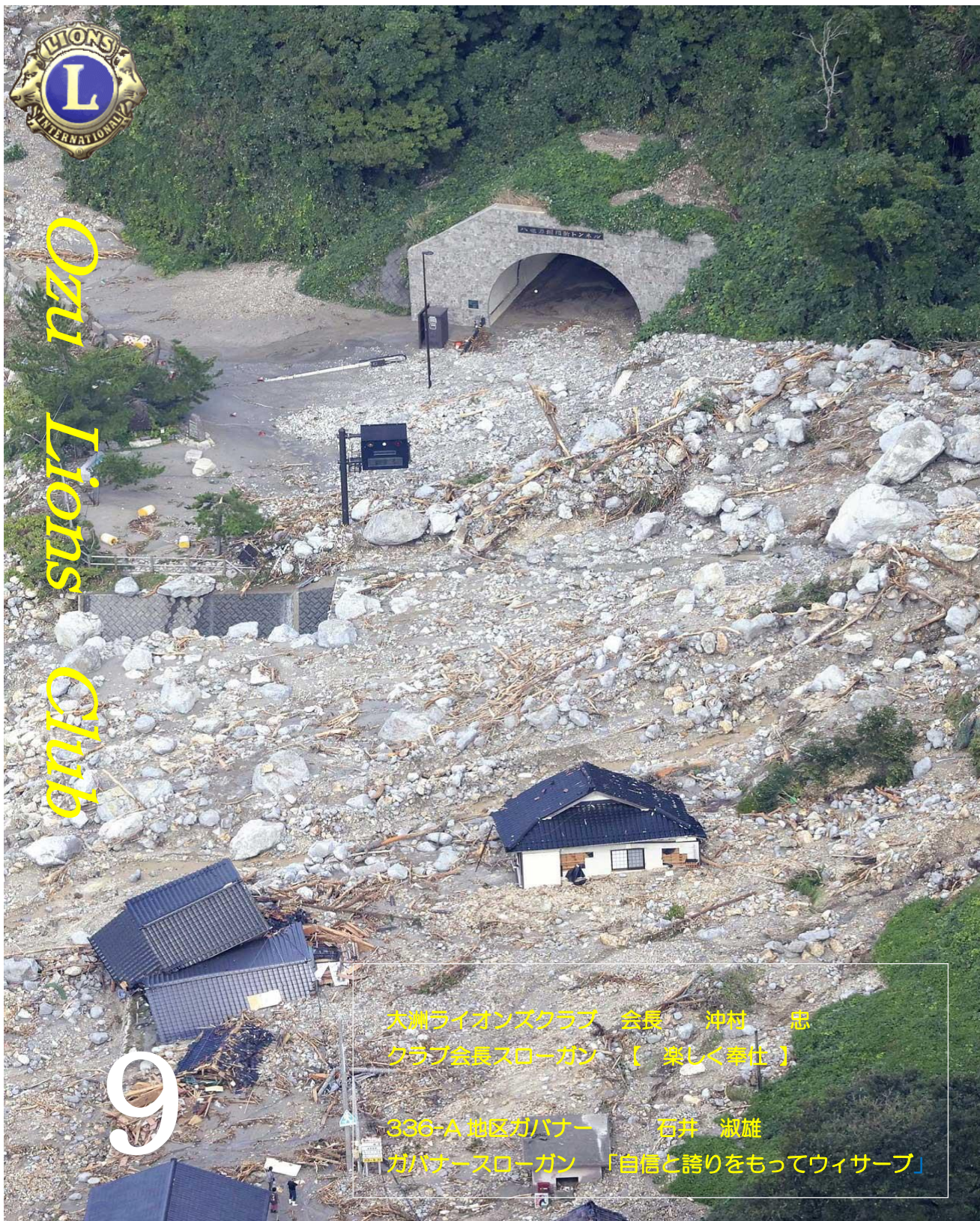




Ozu Lions Club

9

大洲ライオンズクラブ 会長 沖村 忠
クラブ会長スローガン 【 楽しく奉仕 】

336-A地区ガバナー 杉井 淑雄
ガバナーズスローガン 「自信と誇りをもってウィサーブ」



大洲ライオンズクラブ 2024－2025 年度

会長スローガン

テーマ「楽しく奉仕」

会員が楽しく例会や奉仕活動に参加していただく事で、
会員の勧誘、現会員の維持、元会員の再入会に重点的に
取り組む。 会員増強の流れ・文化を培う事をめざす。

- (1) 新たな（継続）楽しい奉仕の機会によってクラブの活性化を図る
- (2) 会員を加えてクラブの若返りを図る
- (3) 指導力育成とクラブ運営の向上を図る
- (4) クラブの成果を地域の人々に伝える

「会員拡大・GAT・GMA 委員会」

- 当クラブでは、純増 3 名以上を目指します

「M 地区誌デジタル」

- 素晴らしい社会奉仕の実践を内外に発信する

「環境保全・健康福祉」

- 献血運動の促進 SDG s の目標を実践

「YCE・国際関係」

- ALT との交流会を通して国際理解と親善の促進を図る

「アラート」

- 南海トラフに対する対応

「青少年・LCIF・合唱団」

- 合唱団の支援 薬物乱用防止教育の勉強会の検討実施
- 青少年 ACT 事業の検討を図る

「計画・出席・レクリエーション」

- 楽しい奉仕 楽しい例会 楽しい同好会活動の計画検討及び実施

「高島交流 65 周年記念事業」

- 高島交流事業の企画検討 65 周年事業の企画検討を図る

「おまつり村」

- おまつり村の計画検討を図る

大洲ライオンズクラブ

9月度理事会

9月度第1例会

9月度の理事会が開催されました。沖村会長の挨拶のあと、三好圓曉氏と稲見勇樹氏の入会式の説明があり稲見氏の入会が承認されました。その後渦尻年度の収支決算報告が久保前財務委員長から説明がありました。大洲で働く外国籍の方とのBBQやおまつり村出店の内容について、周年記念実行委員会等の議題が協議されました。

沖村会長より本年度三名以上の会員拡大を目指す旨の説明があり、矢野委員長司会の入会式に進みました。三好圓曉氏との関係では八十八か所参拝の話にも触れ、三好氏からは「皆様、五月に十夜ヶ橋の落慶法要も終わったので、本日入会する事になりました。」との挨拶がありました。

稲見勇樹氏からは、「8月の人事異動で松山から勤務先が大洲になり、初めての南予なので、わからない事ばかり、皆さん宜しくお願い致します」とのご挨拶がありました。その後濱田会員から大洲ライオンズクラブの「同好会の紹介」が説明され釣り同好会、ゴルフ同好会、カラオケ同好会の紹介がされました。中野幹事の「幹事報告」では8月の事業の報告や今後の活動予定等の説明がありました。「理事会報告・ローア」で閉会いたしました。



肱川トリムパーク 一斉草刈奉仕作業



2024.9.18

【肱川クリーン作戦】

9月18日（水）、早朝6時から肱川ピクニックランドの除草が、大洲の環境を良くする連絡協議会の呼びかけで作業が実施されました。この時期は、芋炊きシーズンの到来で、「芋たき初煮会」や「観月会」等の河原に集まって大洲の里芋を食べる絶好の季節です。しかし、芋たき会場の周辺は、肱川の増水時に流れ着く流木やゴミが多く河川敷に散乱していて、大変見苦しい環境になっています。更にこの夏の異常な気候により、河川敷の雑草が繁茂し景観上良くない河川敷の風景となっています。

この状況に、大洲ライオンズクラブと大洲市観光協会は、事前に協議をして除草作業を実施することに致しました。各種団体に声掛けする都合があるので、「530運動」で実施母体になって頂いています「大洲の環境を良くする連絡協議会」に取りまとめをお願いすることになりました。

当日は、早朝6時より1時間程度で除草作業の出来る範囲での作業とすることにいたしていましたが、除草用機材の台数も揃っており、範囲を拡大して肱川トリムパーク周辺一帯を除草することになり、時間も8時迄の2時間をかけて除草作業を実施致しました。刈り取られた雑草は、大洲市の方で集草や処分を頂きました。

大洲ライオンズクラブからは9名の皆さんが参加して頂きました。

肱川除草作業参加者

- ① 渦尻敬治郎 ② 亀岡 玄良 ③中野 吉貴 ④矢野 啓文 ⑤宮下 利秋
⑥ 弓達 るり子⑦ 菊地 敏則 ⑧兵藤 正帛 ⑨ 中尾 治司

肱川トリムパーク 一斉草刈奉仕作業



子供食堂への思い

安永 文香



けんちゃん、私のスプーンから初めてご飯を食べてくれました。けんちゃんは、多動のある知的障害者です。私は、大阪で生まれ育ちました。大阪というところは、マイノリティに対する興味関心が大いにあります。笑いと一緒に違いが面白いのです。障害を持っている方や人種の違いにもおおらかな気質があり、勉強も熱心。「典子は今」という、妊娠中の母親が飲んだお薬により手が短く産まれた典子さんの日常を描い

← 若宮子供食堂

た作品や、筋ジストロフィーという難病の方たちを描いたドキュメンタリーをみんなで見たり、また1980年は国際障害者年で、大阪のど真ん中で音楽イベントがあり、叔父がバンドをしていたので参加したりしたのをよく覚えています。クラスには京子ちゃんという子がいて墨汁を間違えて飲んでしまったりしてしまう友達がいましたが、おせっかいな女子がいつも優しくお手伝いをさりげなくしていました。遠足は別の施設の子供と手をつないで行きました。健常者のお友達と変わらないという感覚でした。こういう毎日なので、個性はあるけれど障害などは全く気にしていませんでした。中学生になると同時に大洲に住むことになり、マイノリティの方が分断されているなという気持ちが犇々と湧いていました。学生になってからはイベントに参加したり、就職してからボランティアに参加したり、仕事の関係で、取材のために施設や作業所に行ったりしていました。気管切開している子どもを持つ親御さんの会で、「健常者と一緒にの



学校に行かせたい」というお願いで、県庁に訪問したこともありましたが。重度のハンディがあればあるほど、自分で伝えられない代わりに、よく人をみます。信用できない人からは絶対にご飯を食べません。手をつないだりもしてくれません。命を託している相手だからこそ、相手を観察し又は直感で許すのでしょうか。この度は、縁あって「若宮子ども食堂」を運営することが出来ました。子どもは、地域の宝です。子どもにとって地域は大事な体験の場所。私が子どもの頃体験した感覚を味わってみたいのです。これからの人生、病気になること、精神的に参ってしまうこともあるかもしれない。人の違いを認めることで、弱い自分、だめな自分という部分も認められる人間になってほしいなという願いを込めて、私は子ども食堂という場を通じて、ごちゃまぜ福祉なるものを提案していきたいと思っています。この日のケンちゃん、お母さん曰く、とても穏やかでご機嫌だったといひます。周りの子どもたちも一向に帰ろうとしませんでした。小さなプレオープンはずまずの成功だったと思っています。



遠方であったため、手術は2泊3日（前日検査→手術→翌日検査）の強行日程で行いました。手術当日は、瞳孔を拡大させる目薬、麻酔用の目薬を何度か点眼し、麻酔が効き始めると、早速手術が始まりました。手術中は笑気麻酔もしており、Drやスタッフも楽しく雑談をしてくれたため、緊張することもほぼありませんでした。レンズを固定する時に目を器具でグリグリ押される変な感覚はありましたが、痛みは全く感じることなく、10分ほどであっという間に手術が終わりました。

手術後はしばらく視界がぼんやりしていましたが、2～3時間後に麻酔が切れると視界が鮮明になり、視力1.5の新たな世界が眼前に現れました。術後数日は顔を洗えないなど多少の不便はありましたが、現在まで痛みや違和感は全くなく、非常に快適です。「もっと早く手術をしておけば…」と後悔さえしています。

唯一困ったことは、中学生の頃から25年以上かけ続けてきた眼鏡が急になくなったため、知り合いに会っても気づいてもらえないことです。これからは、裸眼がスタンダードになりますので、裸眼の顔を覚えていただけると幸いです！

しばらく前から私が眼鏡をかけなくなったことにお気づきの方もいるかもしれませんが、今年6月に東京でICL手術をしてきました。

ICL手術は、目の中に小さなレンズを挿入して、視力を矯正する手術です。従来はレーザーで角膜を削るレーシック手術が主流でしたが、ICL手術は、①重度の近視や乱視でも手術が可能、②角膜を削らないため後遺症が残りにくい、③視力が長期的に安定する、④手術後もレンズの交換が可能（度数の変更、老眼用への変更）、などのメリットがあります。元々は重度の近視で（両目とも視力が0.01～0.02）、日常生活で不便を感じるが多かったため（温泉などで周囲が見えない、ランニング時に雨や汗で眼鏡が曇る、災害時に眼鏡がなければ避難もできない…）、ICL手術を決意しました。



9 月第二例会

(ケンサキイカ例会)

九月第2例会の開催

「ケンサキイカ例会」

九月の第2例会は恒例の「ケンサキイカ例会」です。二十七名の出席で、料苑たる井のイカづくし料理を堪能致しました。

釣り同好会の皆様、大変ご苦勞様でした。十月からは、事業も増えてきて、「春賀の里まつり」、「おまつり村」「子供食堂」等のボランティアが目白押しとなっております。天候不順で延期となっておりまして、「外国人の方達とのBBQ」も日程調整しなくてはなりません。

会員の皆様のご協力をお願い致します。そして、残念な事は、クラブの重鎮であります「今井 要」ライオンがこの度、勇退されることになりました。今井氏は、クラブの会長やリジョンの要職を勤められ、クラブや3Rのために多大なご活躍をされました。高島交流では高島クラブとの友好関係の構築に尽力され、何度も、滋賀県の高島を訪問されました。

クラブでは、沖村会長の英断で、今井氏の「卒業式」が企画され、今井氏にもご出席をお願いし、会員の盛大な拍手の中で、卒業式が開催されました。今井先生、本当に永きに渡り、当クラブの中心として、会員を支えて頂きました。お疲れさまでした。



今井先生お疲れさまでした 卒業式スナップ



ドネーション報告

【 例会ドネーション 】

9/13	沖村	三好様、稲見様、入会ありがとうございます、よろしくお願いいたします
	矢野	三好さん、稲見さん、入会おめでとうございます
	榊田	96 才の誕生日です 1928 年 9 月 16 日
	亀岡	22 日に地区運動会で「玉入れ」に参加します
	松岡	十月まで暑さに負けず、頑張りましょう
	富永	三好さん、稲見さん、入会おめでとうございます
	新山	稲見さん、三好和尚さん、入会おめでとうございます
	岩田	彼岸花が咲き始めました
	古森	ウクライナ支援募金
9/27	沖村	今日は長女の 34 回目の誕生日です、今井様長い間ありがとうございました
	中野	今井 L 長い間どうもご苦労様でした
	宮下	釣り同好会の皆様大変ご苦労さま、今井先生永い間お世話になりました
	岩田	今井さん、長い間ご指導ありがとうございました
	新山	暑い中お疲れさまでした、ケンサキイカ味わって頂きます
	松岡	夏か、秋かわかりません、こんばんわで終わります
	久保	石破さんになりました、期待しております
	沖村	石川県支援募金に
	古森	ウクライナ支援募金に プーチンいいかげんにしろ！

【 ドリンクドネーション 】

9/27	有澤	中野	宮下	亀岡
	亀田	久保	佐々木	村上
	沖村	寺尾	中尾	樽井



料苑たる井

〒795-0052 大洲市若宮465-1
TEL(0893)24-4585 FAX(0893)24-6830

お食事処
とんかつたる井

〒795-0054 大洲市殿町553-19
TEL(0893)24-3000 FAX(0893)24-5840

沢井耳鼻咽喉科医院

院長 沢井 尚

大洲市中村432-2

電話 24-2510



国土交通省 四国地方整備局
山鳥坂ダム工事事務所

たけうち ひろたか
所長 竹内 宏隆
技術士(建設部門)

〒797-1505
大洲市肱川町予子林6-4
Tel: (0893)34-3000(代表)
Fax: (0893)34-3358
E-mail: takeuchi-h88cz@mlit.go.jp

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

株式会社 テラオ

代表取締役 寺尾 幸記

〒795-0075 愛媛県大洲市喜多山甲100番地
TEL 0893-25-2008 (代) FAX 0893-25-3696
E-mail: k-terao@iaa.itkeeper.ne.jp
携帯 090-3784-2076



Insurance
Agency

肱川産業株式会社

Hijikawa Sangyo Co. Ltd.

取締役副社長

富永 浩一郎

ファイナンシャルプランナー
(日本FP協会認定会員No.35005504)

〒795-0011 愛媛県大洲市柚木900-1
TEL: 0893-24-2042 FAX: 0893-24-2484
E-mail: hs2301@hs2301.com



独立行政法人国立青少年教育振興機構
国立大洲青少年交流の家

所長

中尾 治司

Nakao Haruji

〒795-0001
愛媛県大洲市北只1086
TEL: 0893(24)5175 / FAX: 0893(24)2909
E-Mail: ha.nakao@niye.go.jp
URL: http://ozu.niye.go.jp/



有限会社 中野開発 愛媛県知事(05)第4526号

信頼してみて、分かります。

不動産事業部

中野 吉貴

〒795-0052 愛媛県大洲市若宮483番地
コスモポリタン中野No.1 2F
TEL 0893-23-9160
FAX 0893-23-9170
E-mail: nakano.kfr.y@gmail.com

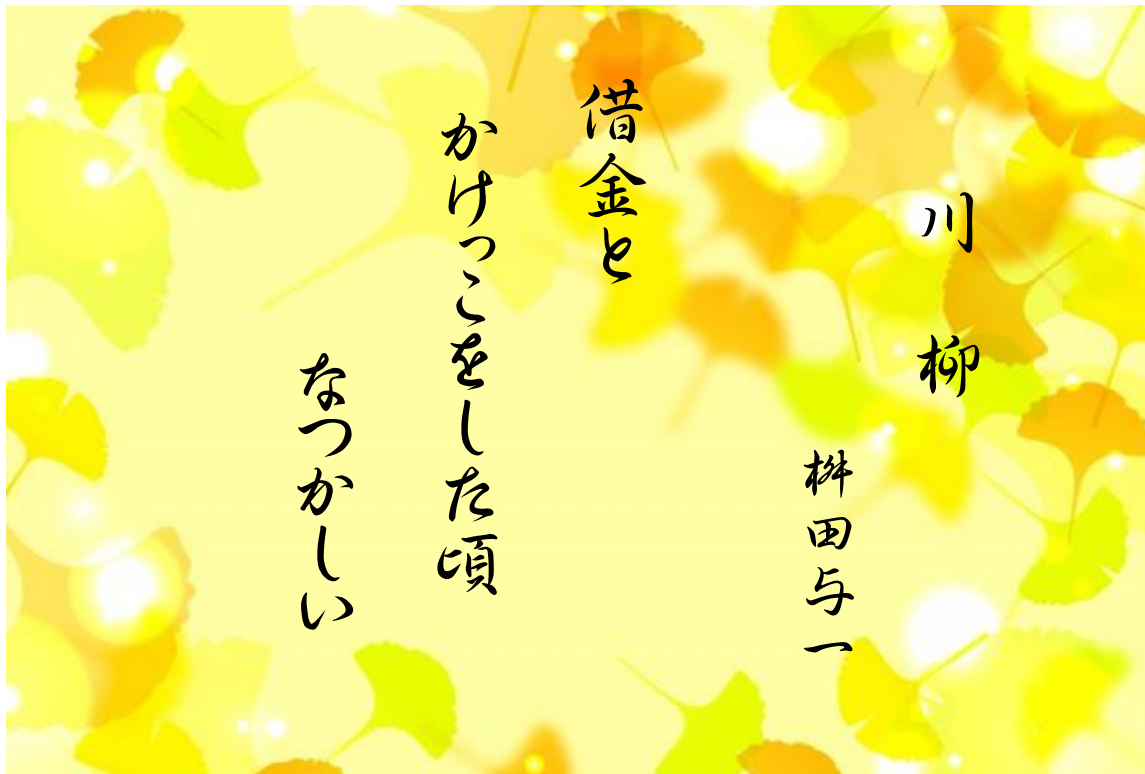


株式会社 ケーブルネットワーク 西瀬戸
Cable Network Nishino Co. Ltd.

代表取締役

西田 洋一

大洲市徳森 248
TEL 0893-25-0212 / FAX 0893-25-0217



編集後記

心地良い気候が続く秋には、紅葉や花々など美しい自然の風景を楽しむ方も多いはず。秋の美しさを見つけたら季語を用いて手紙を書いて、大切な方と分かち合ってみてはいかがでしょうか。夏の盛りも過ぎ、吹く風に涼しさを感じられるようになってくると、いよいよ秋の季節がやってきます。

秋といえば、美しい紅葉や過ごしやすい気候をイメージする方も多いのではないのでしょうか。なかでも紅く染まる山々と澄み渡る空のコントラストは、清々しく秋らしい光景ですよね。また紅葉を見に出かけるのはもちろん少し肌寒い秋は自宅でゆっくり趣味を楽しむのも素敵です。そんな秋のひとつときには、大切な方に手紙をしたためて下さい。美しい季語には、「秋麗（あきうらら）」「秋入梅（あきついり）」「冬隣（ふゆとなり）」「山粧（やまよそおう）」「錦秋（きんしゅう）」「秋高し（あきたかし）」色んな季語があります

表紙の写真：2024年9月 能登半島 豪雨災害